

記念写真集

感動と感激中日国交正常化 50 周年記念中国伝統文化昆劇公演“霓裳和韻”

記念写真集

月刊『華鐘通信』編集部

2022 年は日中国交正常化 50 周年記念の年です。この記念すべき年に際し、弊社と上海昆劇団は共同で昆劇芸術界の国宝級ベテラン俳優芸術家の皆さんに出演を要請して、上海天蟾逸夫舞台における昆劇記念公演を開催しました。今回の公演は出演する俳優陣の豪華さにおいて空前絶後の公演といえるものでした。今回の記念公演によって更に多くの日本の友人の皆様へ中国の伝統芸術の一つである昆劇の精髓を理解して頂き、喜んで頂けたと信じております。以下今回の公演の名場面の写真とそれにまつわるエピソードなどをご紹介します。

(この月刊華鐘通信No.334 に掲載している昆劇公演“霓裳和韻”の全ての写真は写真家海原修平氏の作品です)



① 上海昆劇団の谷好好団長(左)自ら舞台に出陣。立ち回り役の谷団長は今回昆劇版『西遊記』借扇に出演。



② 梁谷音先生の孫娘(上)は今年でやっと 14 歳、今回はその師の青年女優・陶思好(右)と一緒に『西廂記』佳期『十二紅』に出演。



③ 岳美緹先生と張銘栄先生は『玉簪記』問病に出演。二人は共に齢 80 のシニア、岳先生(左 2)は男装の書生役を演じる。



- ④上の写真：80歳の梁谷音先生(上の写真)は今回の公演での演目は『孽海記』思凡、老いの衰えを知らず、何時までも青春の頃そのもの！
- ⑤右上の写真：高齢80歳の計鎮華先生(右1)が出演したのは『琵琶記』掃松。先生の太い歌声は、歌い出すや観客一同は息を吞んでうっとり。
- ⑥右下の写真：高齢80歳の蔡正仁先生は『太白醉写』の中で李白を演じる。(右2)。



ベテラン俳優芸術家の皆さんのカーテンコールにこたえた時の記念写真